
いつか必ず

刹那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いつか必ず

【Zマーク】

N9491M

【作者名】

刹那

【あらすじ】

ある少年と黒猫のお話。
少し切ない物語です。

(前書き)

「つまご」と書けたかな?
ちょっと不安ですがよんじやつてください。

僕は悩む。

あの日したことは間違っていたのだろうか?
あの日も悩んでその結果君に

「待つて」

そういう家に戻り君にプレゼントをしたんだった。
その後君は僕の後ろについてきたんだよね。
そして……。

君は永遠に僕の前から消え去ってしまった。

あの時、君を抱いていたときつとこんなに後悔することはなかつただろう。

あの時、君にプレゼントなんてしていなければ君は付いてこなかつただろう。

あの時、出会っていなければ君は今も生きていられたのにー。
そんな後悔ばかりしているんだ。

ねえ黒猫。

それでも君が幸せだったと言ひのならば、僕はこの話の一部と共に最後まで一緒にいて必死に生きよつと思つ。
そして僕がもし、君と同じ場所に行けたなら必ず君を見つけ出すよ。

また君のその黒い体に触りじてほしー。そしてできることなら抱いてみたい。

だからその時まで必死に生きよつ。
待つていて。いつか必ず……。

会いに行くから。

(後書き)

これ猫つて書かないと誤解しますね・・・。
読んでみて気づきました。
もしよければ感想とか送ってください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9491m/>

いつか必ず

2010年10月28日07時34分発行